

第 34 期（平成 29 年度）全国 P H P 友の会活動方針

祝・ P H P 友の会設立 40 周年 大きな飛躍の年に！

豊かな社会 幸せな人生を目指し

広げよう「素直な心」、人と人との輪（和）

松下幸之助氏が昭和 21 年（1946 年）に創設した P H P 研究所は 70 周年、そして昭和 51 年（1976 年）に設立された P H P 友の会は 40 周年の節目の年を迎えています。本年を契機に私たちの活動も初心に戻って新たな一步を踏み出すとともに、新しい時代に即応した変革を成し遂げたいと思います。

P H P 友の会はこれまで多くの方々のご尽力を賜りながら、松下幸之助氏が提唱する「素直な心になりましょう」をモットーに、「学び」「交流」「仲間づくり」「社会貢献」の活動を精力的に続けてまいりました。これからも会員相互の“思いやり”と“絆”を大切にしつつ、より良い社会、P H P 社会の実現に向けて、「素直な心」を育み、積極的に広げていきます。引き続き会員の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

◆ P H P 友の会の使命は、よりよい社会づくり

思い起こせば、松下幸之助氏が P H P 研究所を創設した昭和 21 年 11 月 3 日は第 2 次世界大戦が終結した翌年でした。P H P 研究所の紹介文に次のような一文があります。「大戦に敗れた日本は、政治・経済・社会等あらゆる面で極めて悲惨な状況にあり、松下幸之助はこの日本を何とかしなければならぬと、強い決意で P H P 研究所を立ち上げました。繁栄による平和と幸福の実現に向けて、衆知を集めて研究し、実践しようという、やむにやまれぬ強い願いがあったのです。松下幸之助が最も進めたかったのは、日本を良くしていこうという P H P 運動だったのです」

ひるがえって今日の日本や世界はどうでしょうか。政治や経済は混迷を続け、英国の欧州連合（E U）離脱の国民投票では欧州の対立の溝が深まり、バングラデシュのテロ事件や中東地域での内戦など、いたるところで憎しみや哀しみの連鎖が広がっています。私たちの日常生活でも毎日のように凶悪な事件が報道され、心が痛むことばかりです。こんな時代だからこそ、私たち一人ひとりが今一度、P H P の原点に立ち戻り、しっかりと P H P の理念と精神を探究し、世の中に発信していく必要があります。明るく住み良い社会を目指し、P H P 友の会活動をさらに発展させていきましょう！

◆ P H P 友の会の未来のために、活動を継続・発展できる自律的な法人組織を目指そう

P H P 友の会活動をさらに力強く発展させていこうと思ったとき、次なるステップを目指すことが必要となっています。P H P 友の会は、発足以来ボランティアによる任意団体として活動してきましたが、これまでのようなボランティアにすべて頼った任意団体では、社会貢献や学びの充実、会員拡大などにおいて活動を広げることが限界になっています。特に仲間づくりにおいては、毎年注力しているにもかかわらず、会員数は増えていません。会員を増やそうにも増やすための資金もなく、社会的な認知

度も低いままです。また社会貢献活動においても、任意団体では大口の寄付を受けることが税制上叶わず、さらなる発展を成し遂げることができません。

そこで設立 40 周年である本年を機に、公益法人化を中長期の目標に掲げたいと思います。公益法人になれば、社会的に認められる組織となり、社会により大きな貢献ができるとともに、仲間づくりにおいても信頼が得やすくなります。また着実に、独立した組織として継続・発展していく道を求めることもできます。公益法人化を通じ、PHP 友の会として「素直な心」を広めつつ、PHP（平和・幸福・繁栄）社会の実現に向けて力強く踏み出したいと思います。

◆法人化に向けての第一歩として、会員が PHP 友の会の活動を支える年会費へ

これまで個人会員年会費 2 千円、法人/賛助会員 1 万円にて全国組織を運営してきましたが、現状では大きな赤字となっています。これまでは PHP 研究所からの資金援助で活動を継続してきましたが、このまま収支が大きく合わないまま活動を継続することは、非常に難しくなっています。また、自立的に活動を継続発展することができる法人組織を目指すためにも、会員一人ひとりが PHP 友の会の活動を支える仕組みをつくっていく必要があります。まずはその第一歩として、健全な財務体質に向けて会費を適正な金額に改定することを目指します。

◆仲間づくりで組織の拡大を

また活動の継続発展のために、仲間を増やし次の世代に活動をバトンタッチしていくことがますます重要となっています。そのためにも、2 年前からスタートした新しい組織体制を軌道にのせ、着実に成果を出していくことが求められています。新しい組織体制では、会員一人ひとりが PHP 友の会活動の役割を担い、PHP 活動を推進していくことを目指しています。「仲間づくり」「会員の増強」についても、会員の皆様の一層のご理解を賜りたく存じます。

友の会の宝は会員そのものであり、会員の増強は組織運営の生命線となっています。「停滞は衰退に通じる」というように、友の会のさらなる発展と継続を目指す限り、「仲間づくり」「会員増強」は避けて通れません。会員全員が各々目標をもち、40 周年の今年は 3000 名、2020 年（平成 32 年）東京オリンピック開催年には 10,000 名を実現したいと思います。会員の総力を結集して挑戦したいと強く願っております。

今期は次頁の重点活動に則り、会員 3,000 名の達成を目指していきましょう。

◆ 重点活動方針 ◆

1、【学び】「素直な心」を学べる環境づくりと組織を担う人材の育成

- (1) 「傾聴の会」「ボランティア会」「若者の会」など新しい学びの場をつくろう
- (2) リーダーの役割を担う、素直アドバイザー資格取得者を増やそう
- (3) 全国PHP友の会の組織活動を担う、経営感覚を持った人材を育てよう
- (4) 「PHP友の会テキスト」などの教材作りをすすめよう

2、【交流】「素直な心」を高める会員同士の交流を促進

- (1) PHP友の会全国大会で全国の交流を広げていこう
- (2) 各会や地域の枠組みを越えたプチ交流会を増やし、会員同士の絆を広げよう
- (3) 「PHP友の会女子会」を通じて、女性の交流の場を全国に広げていこう
- (4) PHPを世界に広めるため、国際的な活動を担うリーダーを育成しよう

3、【仲間づくり】会員みんなでPHP友の会を育てる意識を向上

- (1) 都道府県ごとに新しい会の結成を進め、目標をもって仲間づくりに取り組もう
- (2) PHP友の会セミナーベーシック編を各地で開催し、新しい仲間を増やそう
- (3) 活動に参加する全員が会員登録をする意識を高めていこう
- (4) エリア活動として講演会を企画、実施し、PHP友の会の知名度を向上させよう

4、【社会貢献】思いやりの心を育む社会貢献活動の推進

- (1) 思いやりの心をかたちに「新・思いやり運動」を着実に取り組んでいこう
- (2) 愛の募金の支援者と寄付先の絆をつなぐ活動を展開しよう
- (3) 友の会らしい活動である「PHP誌を贈る運動」を継続・拡大しよう
- (4) 各会や会員が地域のボランティア活動に率先して取り組んでいこう